

令和5年度行政事業レビューシート							(文部科学省)	
事業名	大学教育のデジタル化・イニシアティブの実施			担当部局	高等教育局	作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	専門教育課	専門教育課長 梅原 弘史		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定) 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(平成30 年11月26日中央教育審議会)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-16.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	圧倒的に高い学修成果を生み出すなど大学の授業の価値を最大化するため、産学が協働してデジタル技術を高度に活用する取組を奨励する大学教育のデジタル化・イニシアティブの円滑な運営を行うことを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	これまでの中教審等での議論を踏まえ、学生の学びのために資源を集約させる「学修者本位の大学教育」への転換が必要である。また、デジタル技術により新たな利益や価値を生み出す「デジタル化」が学びを深化させる可能性を有していることや、With コロナ/After コロナにおいて、サイバーとフィジカルを上手に組み合わせた教育の具体化が急務となっている。こうした機を積極的に捉え、デジタル技術を上手く活用し、圧倒的に高い学修成果の達成や、自発的な学び・気づきの効果的な誘導、現場実習・実験に近い経験の機会確保など授業の価値を最大化する機運を醸成し、取組を全国に浸透させていくことが必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	圧倒的に高い学修成果を生み出すなど大学の授業の価値を最大化するという事業目的のもと、大学の授業をデジタル化するアイデアを持つ大学教員や企業等が、そのアイデアを公開の「ピッチイベント」で披露し、そのアイデアに賛同した者たちがマッチングし、実際の授業でフィジビリティ・スタディを行う。これらの取組についてはその効果を検証、情報発信し、我が国として知見を蓄積していく。この事業推進のため、広報等プロモーション戦略、ピッチイベント運営、フォローアップ等を管理する事務局を設置する。							
事業概要URL	https://scheemd.mext.go.jp/							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	31	31	31	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	31	31	31	-	
		執行額(G)	-	25	24	-	-	
		執行率(%) =(G)/(F)	-	81%	77%	-	-	
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	81%	77%	-	-			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	高等教育振興費						
	(目)	大学改革推進委託費	27					
	(目)	委員等旅費	2					
	(目)	諸謝金	1					
	(目)	庁費	1					
	(目)	職員旅費						
	(目)	その他						
	その他		-					
	計(A)	31	-					

活動内容① (アクティビティ)		デジタル技術を用いて大学・短大・高専の授業価値を最大化することに挑戦する教職員や学生、デジタル技術者(企業)が、そのアイデアを披露し、賛同した者たちがマッチングする機会を創出するため、広報等プロモーション戦略、ピッチイベント運営、フォローアップ等を管理する事務局を設置する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		大学の授業をデジタルライゼーションする 質の高いアイデアの収集	ピッチイベントの登壇者数	活動実績	人	10	20	18	-	-
				当初見込み	人	10	10	20	18	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		大学教育のDXに関心を持っている教職員・学生・技術者等がどの程度いるか、本事業で開催するピッチイベントの参加者数によって確認する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		大学や企業等が有するアイデアを公開 するピッチイベントの開催	ピッチイベントの参加者数	成果実績	人	533	1,814	402	-	
				目標値	人	-	533	1,814	402	
				達成度	%	-	340.3	22.2	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業実施者への状況調査(文部科学省調べ)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		ピッチイベントの開催により、他機関とのコラボレーションがどの程度生れたかを確認する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		本事業を通じたコラボレーションの創出	本事業を通じて生まれたコラ ボレーションの件数	成果実績	件	-	-	15	-	
				目標値	件	-	-	-	15	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業実施者への状況調査(文部科学省調べ)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

文部科学省
31百万円

・諸謝金 1百万円
・委員等旅費 2百万円
・庁費 0.4百万円
・職員旅費 0.2百万円
計4百万円を含む。

大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブの事業推進業務を委託。圧倒的に高い学修成果を生み出すなど大学の授業の価値を最大化するため、産学が協働してデジタル技術を高度に活用する取組を奨励する。



委託【企画競争】

A. 民間企業
(全1件)
24百万円

大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブの円滑な実施のため、広報等プロモーション戦略、ピッチイベント運営、公式取組のフォローアップ等を管理する事務局を設置・運営する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費等	諸謝金、旅費等	14.7			
再委託費	再委託費	4.4			
人件費	賃金	4			
計		23.1	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	CIC Toranomom合同会社	9010403019719	大学教育のデジタルイニシアティブの実施	23	随意契約(企画競争)	1	-	-